



令和4年度 大阪狭山市水循環協議会(第1回)

説明資料

令和4年8月1日(月)



- (1) 大阪狭山市水循環協議会について
- (2) 大阪狭山市における「水循環」の現状
- (3) 将来像に影響を与える要素
- (4) 大阪狭山市の「水循環」における特徴と課題

(1)大阪狭山市水循環協議会について



(1) 大阪狭山市水循環協議会について

P.4

①水循環計画とは

- **「水循環基本法」**に基づき、国が「水循環基本計画」を策定
- 地域の健全な水循環の維持・回復のための施策を推進

→**「水循環計画」の策定が強く期待**されています。

水循環基本法に基づく「水循環基本計画」は、次の**9つの要件**を満たす形で策定することが求められています。

- i. 公的機関の計画策定への関与
- ii. 流域の課題設定
- iii. 流域の目標設定
- iv. 目標を達成するための施策設定
- v. 課題・目標・実施する施策の適切性
- vi. 地域住民等の意見の反映
- vii. 流域の特性や既存の他の計画等との関係
- viii. 計画を評価するプロセスの有無
- ix. 計画の進捗状況を表す指標

水循環に関する各種施策は、**「計画の基本方針の下、有機的な連携が図られるよう、関係者が相互に協力し、実施すること」**が求められています。

(1) 大阪狭山市水循環協議会について

P.5

②水循環基本法

平成20年頃から水循環基本法研究会が設立・開催

→多くの議論を踏まえて、**平成26年に水循環基本法が成立**しました。

水循環基本法のポイント

1. 水循環に関する施策を推進するため、水循環政策本部を設置
2. 水循環施策の実施にあたり基本理念を明確化
3. 国、地方公共団体、事業者、国民といった水循環関係者の責務を明確化
4. **水循環基本計画の策定**
5. 水循環施策推進のための基本的施策を明確化



第1回水循環政策本部会合（2014年7月18日）
で挨拶する安倍内閣総理大臣 <官邸HPより>

③水循環基本計画

水循環基本法に基づき、水循環に関わる基本的な計画を策定

→水循環基本計画の重点取組項目は、**大阪狭山市の水循環計画**にも考慮が必要

重点的な取り組み その1

流域マネジメントの更なる展開と質の向上

- 流域に関する計画の策定・推進を支援
- 水循環の実態と施策の効果を「見える化」



農業、工業、生活などへの水の有効利用
地域の安全・安心
自然とふれあう機会の創出
地域のコミュニケーション強化
心癒やされる景観
水辺空間の活用

重点的な取り組み その2

災害等によるリスクへの対応

- 防災・減災・国土強靱化のための対策を実施
- インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進
- 持続可能な地下水の保全と利用を推進
- 渇水への適応策を推進

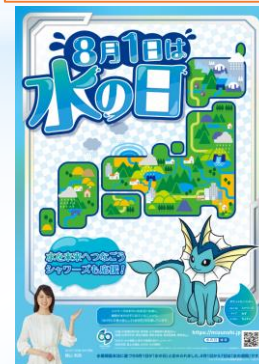


災害の対応

渇水の対応

重点的な取り組み その3

普及啓発、広報及び教育と国際貢献



水の貴重さや大切さを考えるための、様々な行事が行われています。

ポケットモンスターと連携した「水の日」の広報を展開するとともに、SNSを活用した動画配信による「水を考えるつどい」を開催



(1) 大阪狭山市水循環協議会について

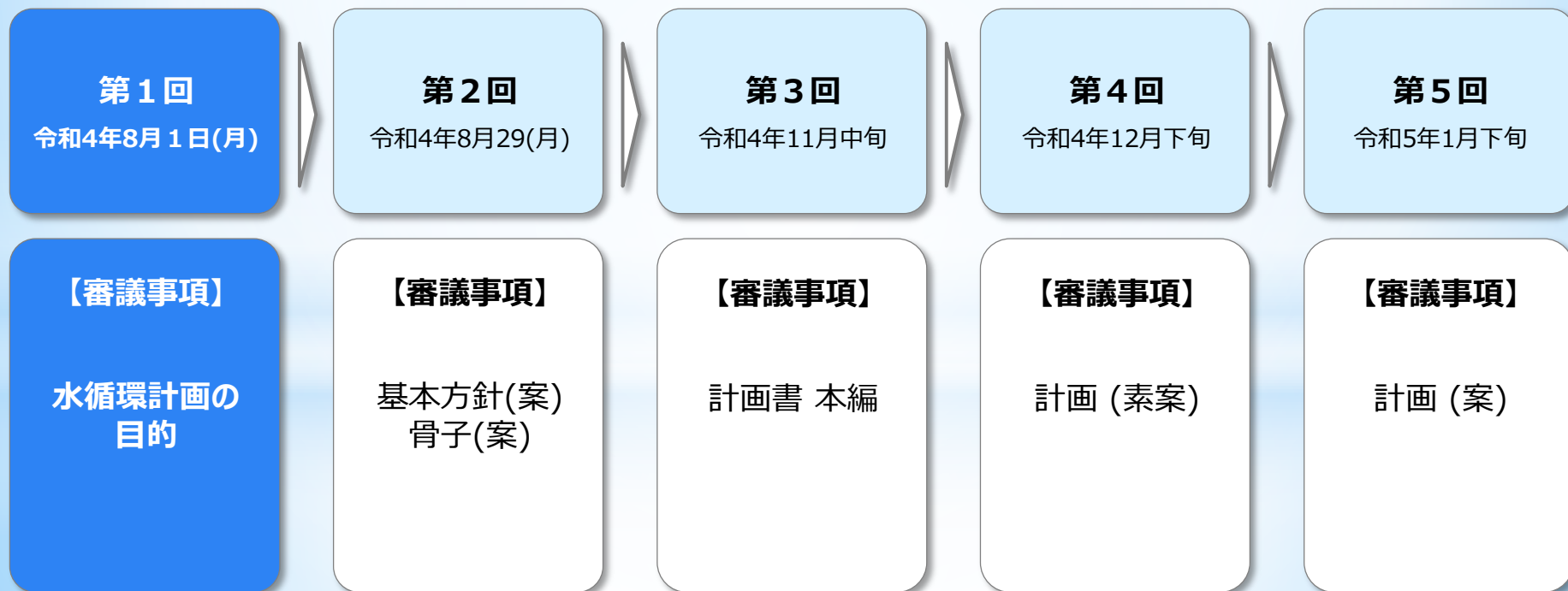
P.6

④ 本協議会の目的

総合的かつ公正的な計画を策定し、水循環に関する多様な関係者の参画が必要

→ 学識経験者、関係団体代表者等による、本計画策定にかかる審議が目的

⑤ 今後のスケジュール（予定）



(1) 大阪狭山市水循環協議会について

P.7

⑥水循環計画策定事例

水循環基本計画に基づく「水循環計画」に該当する計画は、全国で**現在61計画**が公表されてます。

➤ 令和3年度12月時点の公表数

公表時期	公表件数
令和3年度公表（12月）	7
令和3年度公表（7月）	12
令和2年度公表（3月）	3
令和2年度公表（12月）	10
令和元年度公表（1月）	12
平成30年度公表（12月）	5
平成30年度公表（4月）	1
平成29年度公表（4月）	10
平成29年度公表（1月）	2
平成28年度公表（1月）	17

➤ 令和3年度（12月）公表の流域水循環計画

提出機関	計画名
厚岸町	第2期 厚岸町豊かな環境を守り育てる基本計画
佐久地域流域水循環協議会	佐久地域流域水循環計画
小金井市	第3次小金井市環境基本計画
世田谷区	世田谷区みどりの基本計画
大垣市	大垣市エコ水都環境プランの一部
日光市	第2次日光市環境基本計画の一部
長崎県	第2期島原半島窒素負荷低減計画

内閣官房水循環政策本部HP 流域循環計画の策定状況
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/mizu_junkan/category/plan ning_status.html

(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状



I 大阪狭山市総合計画との関連

II 「水循環」に関連する要素の現状

(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.10

①本計画の市における位置付け

第五次大阪狭山市総合計画において、まちの将来像を設定

→将来像を具現化するため、「水」に関するマスタープランとして本計画を策定します。

第五次大阪狭山市総合計画



大阪狭山市水循環計画



大阪狭山市に関連する
様々な計画・施策

上水道

下水道

河川

ため池

みどり

その他

「水・ひと・まちが輝き みんなの笑顔を未来へつなぐまち」
～みんなでつくる おおさかさやま～

(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.11

②第五次大阪狭山市総合計画

- 大阪狭山市を取り巻く環境の変化に柔軟に対応したまちづくりを進めるための計画
- 長期的な展望で将来像の実現に向けた取組みを推進

➡水循環計画では、第五次大阪狭山市総合計画を上位計画に位置づけ、整合を図ります。

《 市の将来像 》

水・ひと・まちが輝き みんなの笑顔を未来へつなぐまち

～みんなでつくる おおさかさやま～

【 6つの施策の大綱】

- ① 子どもや若者の未来が輝くまちづくり
- ② 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
- ③ 自然と調和した活力のある快適なまちづくり
- ④ 豊かな心と文化を育むまちづくり
- ⑤ 安全で安心できるまちづくり

⑥ 施策の推進に向けて



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.12

I 大阪狭山市総合計画との関連

II 「水循環」に関連する要素の現状

(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

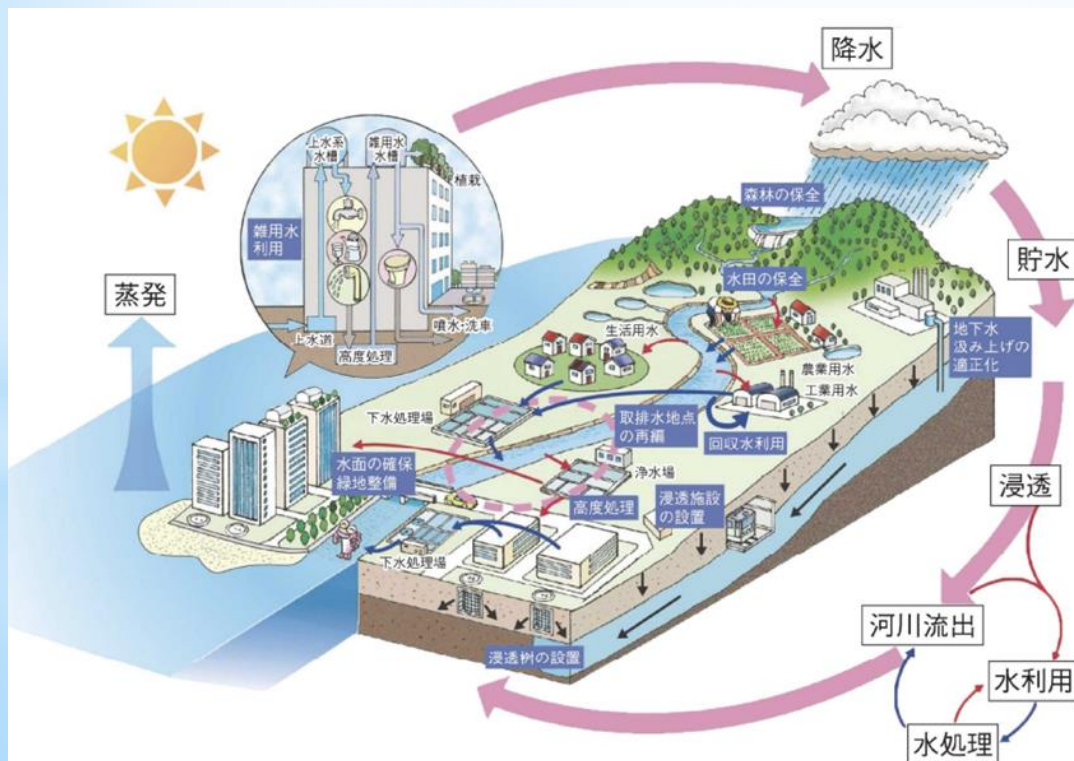
P.13

① 本計画における水循環の対象要素

- 水循環計画は、人の活動により水循環への影響があると考えられる地域を対象
- 本市に影響する降雨や河川・水路等の治水、上水道・下水道・農業利用等の利水を対象

→ 本計画で対象とする流域は、**大阪狭山市域**とします。

【最も一般的な水循環のイメージ】



健全な水循環とは

人の活動と環境保全に果たす水の機能が適切に保たれた状態を指します。

出典：内閣官房水循環政策本部事務局

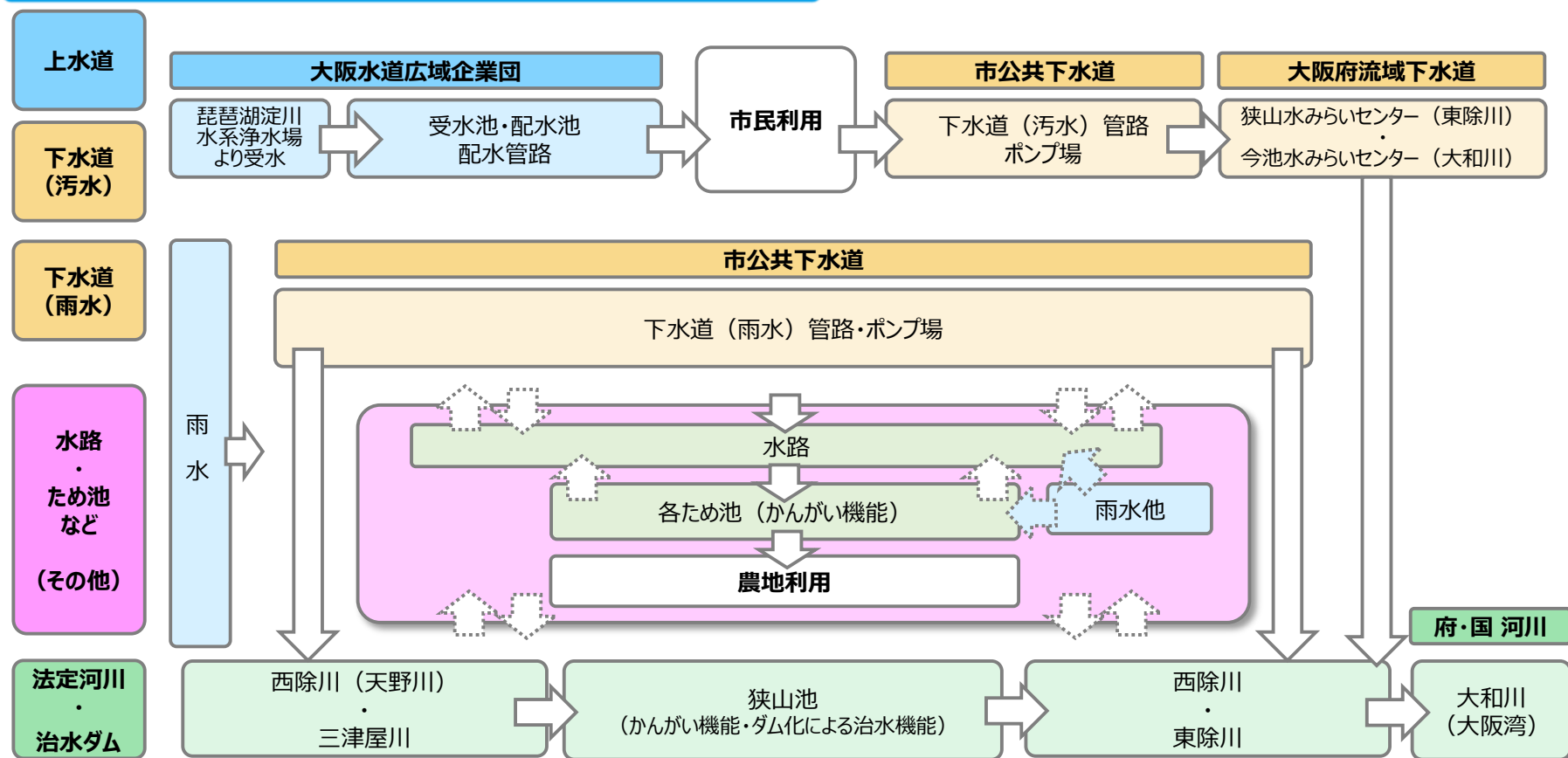
(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.14

②大阪狭山市における水循環の要素：各要素の関係

- 利水では、上水道から下水道（污水）への流下または水路・ため池から農業利用
- 治水では、下水道（雨水）・水路・法定河川・治水ダムがそれぞれ役割を分担

大阪狭山市における流域水循環の模式図（左から右へ）



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.15

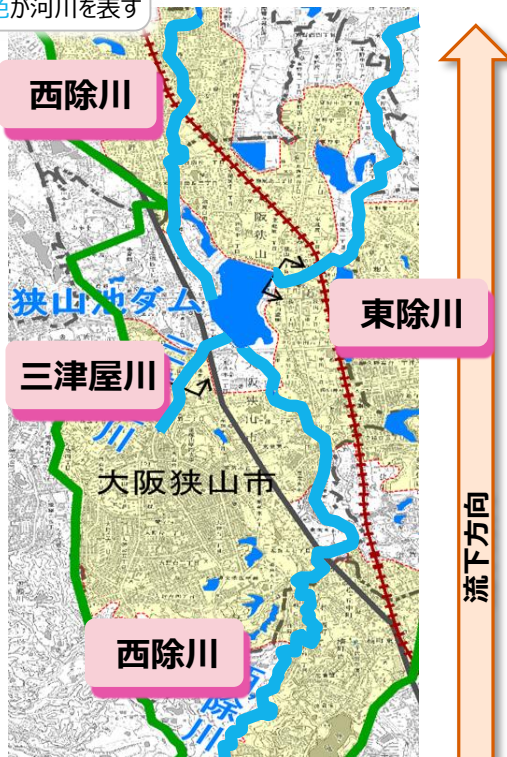
③ - 1 大阪狭山市の水循環 : 治水 河川

- 大阪狭山市を流れる河川は、大和川水系の西除川、東除川、三津屋川の3河川
- 一級河川（指定区間）に指定され、大阪府により管理

→ 雨を安全に流下させるため、河川改修は大阪府が進めています。

3河川的位置図

※水色が河川を表す



狭山池ダム上流（西除川）

- ・川幅 約15m
- ・床勾配 1/400～1/250程度
- ・コンクリートブロック護岸

南海金剛住宅付近では旧河川敷周辺にヒメボタル等もみられる。
さらに上流では、周辺に田園風景が広がり、最上流部は、金剛生駒紀泉国定公園に指定されている。



三津屋川

- ・川幅 10～15m程度
- ・コンクリートブロック護岸

昭和40年代に、住宅開発に伴って整備された。
河岸に形成された砂州は、植生繁茂・遊歩道整備などにより、コンクリートブロック護岸の圧迫感を軽減している。



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.16

③－2 大阪狭山市の水循環：治水 狭山池（ダム）

- 狭山池は約1400年前の飛鳥時代に造られた、日本最古のダム形式のため池
- 昭和57年の災害を契機に池の堤防の補強と利水・治水容量を増加

→狭山池は、本市の中心に位置し、本市のシンボルとして市民に慕われています。

狭山池

狭山池ダムは、昭和57年8月豪雨で大きな被害を受けた西除川、東除川流域の抜本的な治水対策の一環として、昭和63年度に狭山治水ダム全体計画を策定し、平成12年度に完成しています。隣接する狭山池博物館は、狭山池ダムの堤や出土文化財の展示をはじめ、生涯学習や学校教育の場として、多くの人に利用されている。

狭山池周囲の公園利用

1000本以上の桜が植樹され、桜の見頃には多くの見物客で賑わう。また、ジョギング・散策をしている人も多く、桜の時期以外でも、十分楽しめる公園となっている。



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.17

③－3 大阪狭山市の水循環：治水 ため池

- 大阪狭山市には、大小合わせて113か所のため池が存在
- ため池は農業用水の確保が目的であるが、雨水貯留による治水効果にも有効

→個人管理のため池は、流出抑制の効果も期待できます。

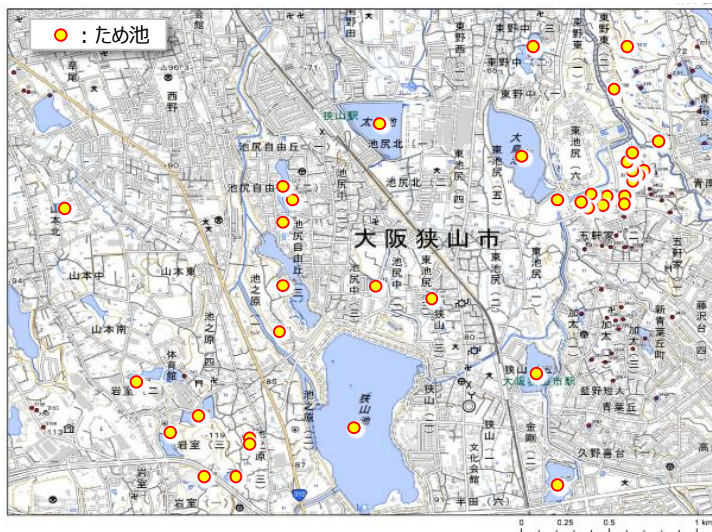
市域に広がるため池

ため池が雨水貯留機能を発揮するためには、多数点在するため池の雨水貯留機能の保全や、ため池管理者に対して大雨に備えるための水位低下を呼びかけるなど、治水へのため池の活用手法を検討することが必要となる。

ため池の管理状況

令和元年7月に「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が施行され、大阪狭山市でも届出がなされている。当該届出から、管理者の過半は「個人またはその他」であり、ため池の雨水貯留機能を活用する上では課題があるものと考えられる。

市域内のため池（一例）

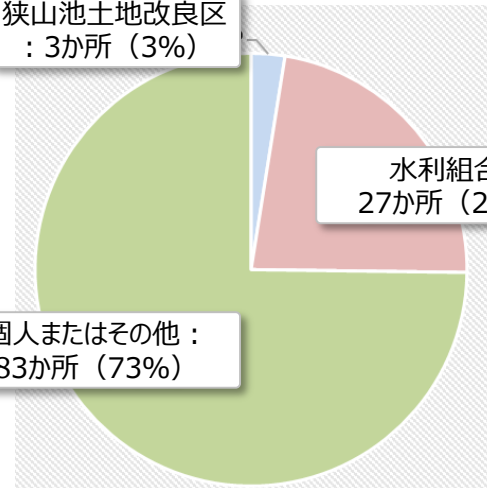


ため池の管理者

狭山池土地改良区
：3か所（3%）

水利組合：
27か所（24%）

個人またはその他：
83か所（73%）



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

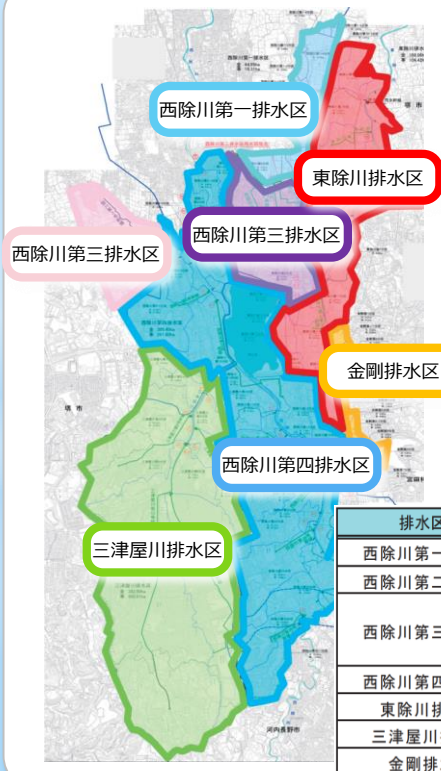
P.18

③－４ 大阪狭山市の水循環：治水 公共下水道（雨水）

- 下水道（雨水）は、効率的に排水するため、市域を7つの排水区に分けて整備
- ゲリラ豪雨による浸水被害が所々発生しているため、床上被害の解消を優先

→内水ハザードマップの公表やソフト・ハードの両面で本市は治水対策を進めています。

雨水計画の概要



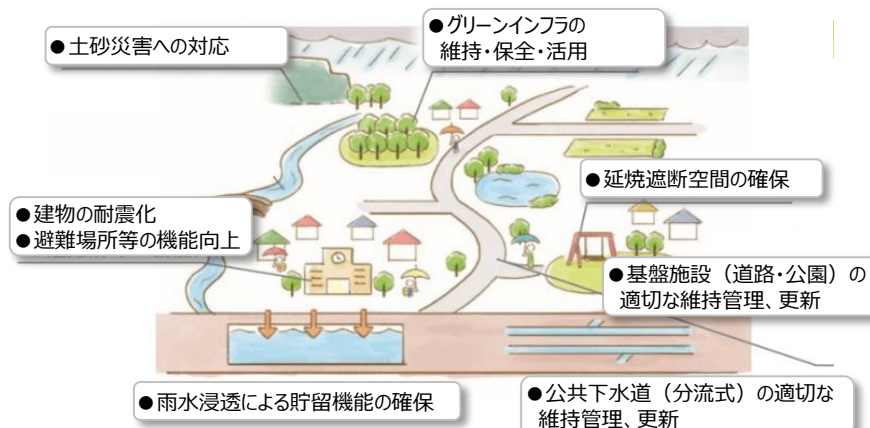
集中豪雨による浸水被害の発生を防ぐため、浸水危険箇所等の整備を優先的に推進することで雨水排水施設の整備率の向上を図っている。

第4次社会資本整備重点計画の中で、内水ハザードマップの作成・公表を全国の自治体に推進しており、大阪狭山市においても2019年度に公表している。

排水区名	整備水準	放流先
西除川第一排水区	10年確率降雨 (48mm/時)	西除川へ放流
西除川第二排水区		西除川へ放流
西除川第三排水区		今池水みらいセンター内の雨水ポンプ場を経由し大和川へ放流
西除川第四排水区		西除川へ放流
東除川排水区		東除川へ放流
三津屋川排水区		三津屋川へ放流
金剛排水区		東除川へ放流

今後の方向性

雨水の排水先である河川や下水道施設、水路や道路側溝等への負荷軽減のため、開発等における雨水流出抑制施設等の設置に向けた指導の強化、水利組合等と連携した、ため池や農業用水路の保全を計画的に推進する。



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.19

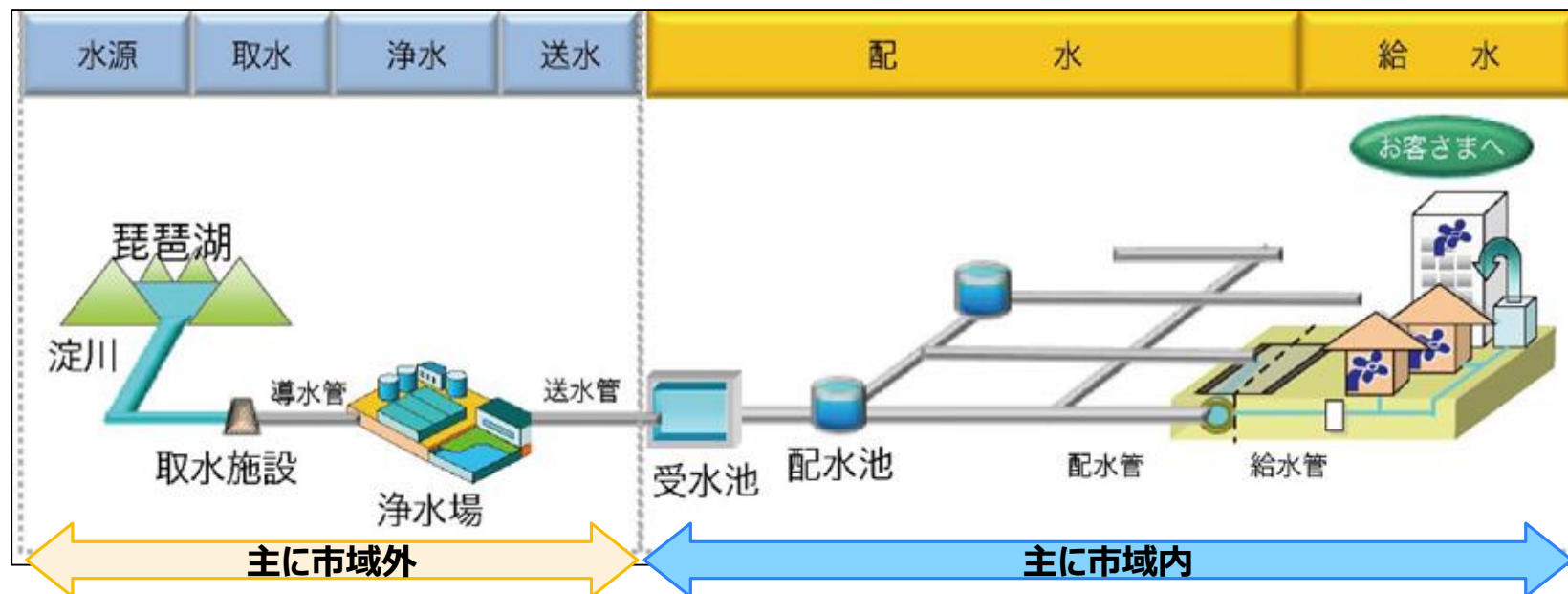
③－5 大阪狭山市の水循環：利水 河川・上水道

- 水道事業は、地下水等を自己水源とする市営から企業団による給配水に変更
- 安定した水質・水量を確保するため、施設の耐震化・老朽化対策を計画的に実施中

→令和3年4月、本市水道事業は、大阪広域水道企業団へ統合しました。

耐震化などの状況・水源から蛇口までの水の流れ

配水池の耐震化率は100%、配水池を含めた貯留施設の備蓄量は21,057m³。令和2年度の給水人口に対し、約1.5日分の水量が確保可能。
耐震適合管は、基幹管路の51.4%、管路全体の46.0%。いずれも府平均値と比べて高い水準となっている。
また、緊急時用連絡管によって、市内給水人口の45%分に相当する6,300m³/日を堺市から融通が可能。



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.20

③－6 大阪狭山市の水循環：利水 狭山池・ため池

- 狭山池では、夏場の時期にアオコが発生
 - 水質向上のため、浚渫や池干し（池の水を放流し、底泥を乾燥させる）を実施
- 狭山以外のため池は、農家数の減少等により管理がおろそかになる懸念があります。

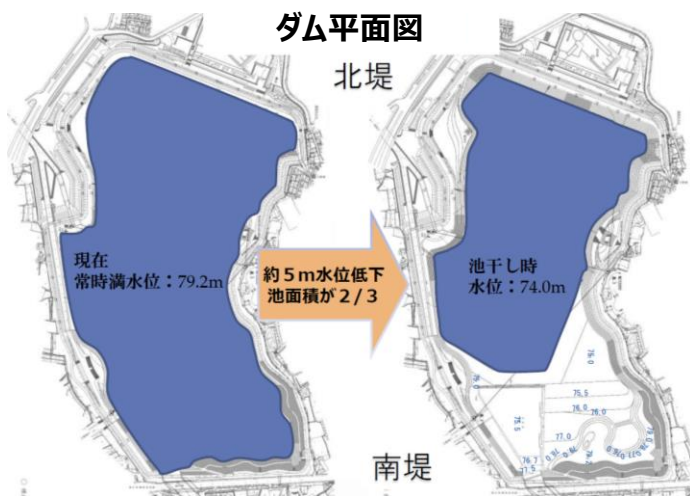
狭山池 水質改善の取組

アオコの発生は、悪臭の原因ほか、水生生物への影響が懸念されるアオコなど藻類発生防止を主な目的に、農業用水利用が少ない冬季に、池の水位を低下させる「池干し」などの取組も行われている。

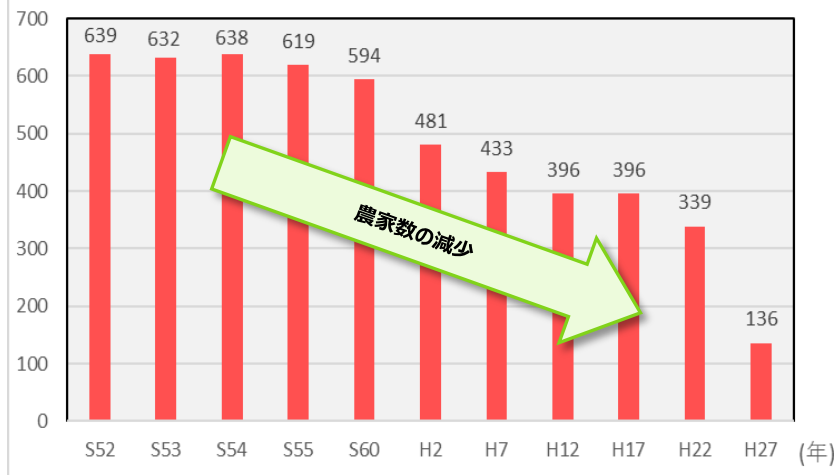
ため池管理と水質への影響

ため池の現況を調査したところ、濁った個所が複数見受けられた。ため池管理体制の脆弱化による影響を想定することができる。

池干し時の狭山池面積（H27調査時の例）



農家数の推移



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.21

③－7 大阪狭山市の水循環：利水 地下水・井戸水

- 地下水採取を規制する条例はない。地下水・井戸水の利用実態は未調査
- 一部の企業では産業活動に地下水を利用

→大阪狭山市には豊富な地下水を資源として活用することも検討対象となります。

地下水量取水実績（企業による利用例）

大阪狭山市域に南北方向の大きな谷が西除川筋と東除川筋の河岸段丘の間に存在し、その谷底平野部には豊富な地下水の存在が想定される。

拠点別環境データ※ Environmental Data by Site

※コニカミノルタが公表している環境活動・環境データから 本市域内に関係する部分を引用

コニカミノルタ（株）国内拠点別環境データ（2020年度）

Sites of Konica Minolta, Inc. in Japan (FY2020)

拠点名（所在地） Site name (location)	主要業務内容 Main business contents	CO ₂ 排出量 CO ₂ emissions	生産外部排 出物量 Waste discharged externally from production activities	最終処分量 Final disposal	取水量 Water withdrawal		排水量 Water discharged	VOC大気排 出量 Atmospheric emissions of VOC	PRTR対象 物質大気排 出量 Atmospheric emissions of PRTR substances	
		(t-CO ₂)	(t)	(t)	(m ³)	地下水 Ground water (m ³)				上水道 Potable water (m ³)
大阪狭山サイト Osakasavama Site （大阪府大阪狭山市） (Osakasayama, Osaka Prefecture)	光学デバイスの開発・製造 Development and manufacturing of optical products	5,205	37	2.2	73,284	35,311	37,973	48,686	*1	0

(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.22

③-8 大阪狭山市の水循環：利水 下水道(污水)

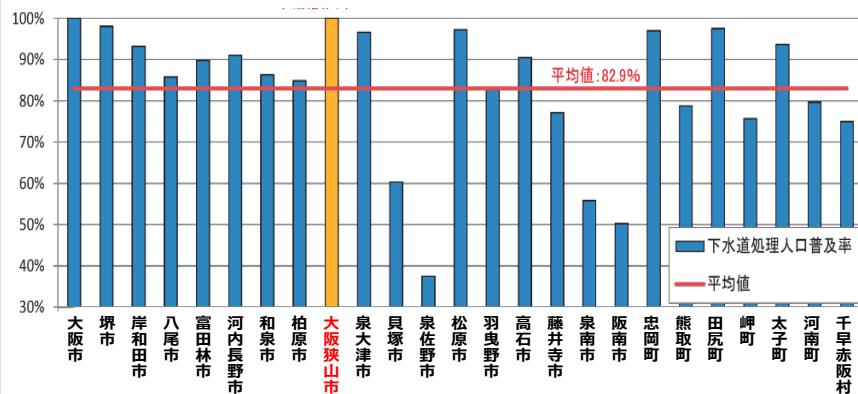
- 下水道（污水）事業は、流域関連公共下水道事業として本市が管路施設を建設・維持管理
- 污水は、大阪府流域下水道の狭山水みらいセンターと今池水みらいセンターで処理され、東除川や大和川へ放流しています。

→ 管路施設は本市が包括的民間委託で維持管理し、汚水処理は大阪府が処理しています。

大阪狭山市の下水道普及率

大阪府流域下水道の整備にあわせ、下水道事業認可区域を拡大し、整備に努めた結果、平成14年には下水道処理人口普及率が、ほぼ100%に達している。

下水道処理人口普及率（近隣都市との比較）



狭山水みらいセンター

狭山水みらいセンターは東池尻に位置しており 昭和42年度より供用を開始した。現在では、拡張工事を終え、本市に加えて、富田林市、河内長野市の3市の汚水処理を行っている。

大鳥池など周辺環境に配慮し、センター内には憩いの場として「せせらぎの丘」「かがやき広場」が整備されている

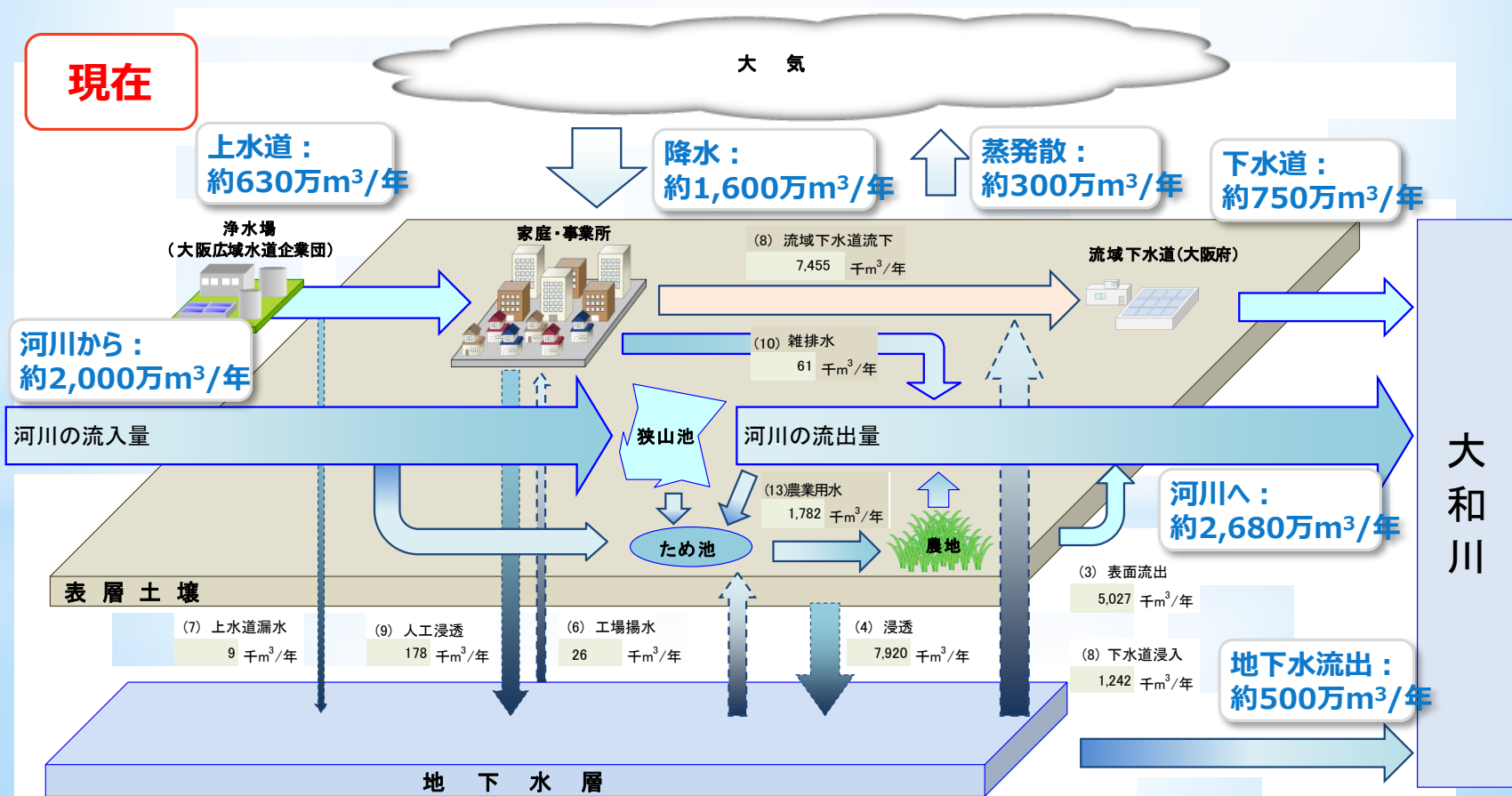


(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.23

④ 水収支の概算結果

- 流入量は 河川約2,000万 m^3 、上水約630万 m^3 、降水約1,600万 m^3
 - 流出量は 河川約2,680万 m^3 、下水約750万 m^3 、蒸発散約300万 m^3 、地下水流出約500万 m^3
- 水収支とは、地下水を含む将来の水循環の状況を見える化するものです。



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.24

⑤ 市域内ため池調査結果の概要

- ため池は、農業利用だけでなく、防災効果や良好な住環境を創出
 - 管理が行き届いていない場合は、災害の原因や景観に悪影響
- 今後は管理と廃止等の方針を定めて、農業用水の確保や人的被害の未然防止を進めます。

※ 大阪狭山市に届出がなされているため池 113 池を対象として実施

ため池に隣接する住宅地

- 大阪狭山市域に多数のため池が存在するため、住宅地が隣接するような立地となっていることも少なくない。
- このようなため池は、水と緑の豊かな景観・住環境を作り出す効果がある。
- 一方、災害時に越水や破堤を起こさないように適正な安全管理も求められる。



親水空間のあるため池

- 市域内で比較的規模の大きなため池である副池には、池の水をポンプでくみ上げ、水辺に親しめるよう「じゃぶじゃぶ水路」が整備されている。
- 現状、市民の方が水辺を親しむことができるような整備がなされているため池は少ない。



濁っているため池

- ごみが散乱したり、藻が繁殖しているため池がいくつか確認された。
- ため池の管理体制の弱体化により、日常の維持管理に支障をきたし、景観・防災上の課題となっていくおそれがあることが想定される。



(2) 大阪狭山市における「水循環」の現状

P.25

⑥ 市民アンケート実施（案）

水循環に関する認知度や、身近な水辺に関する課題又は改善要望などを把握し、本計画に反映するため市民アンケートの実施を予定しています。

目 的	水循環計画の策定に資するため、水循環に関する認知度や、身近な水辺に関する課題又は改善要望などを把握する
調 査 日	令和4年8月〇日～〇月〇日 (1ヵ月半程度)
調査対象	市民
調査方法	①：web媒体による配布 スマホ・パソコン等で回答 ②：紙による配布 アンケートボックスで回収
質問項目（案）	問1～4 水環境クイズ 問5～8 水循環の認識 問9～12 保全活動の認識 問13～16 治水対策の認識 問17～21 回答者情報

水・ひと・まちが輝きみんな笑顔を未来へつなぐまち
～みんなでつくるおおさかさやま～

大阪狭山市の水についての クイズ&アンケート 実施中！

みなさまの水環境への意識を調査し
将来のまちづくりに反映させるため、
アンケート調査を実施させていただきました。
ご多忙中とは存じますが、調査の内容
をご理解の上、ご協力いただきます
ようお願い申し上げます。

所要時間 **5分** ご回答締切 令和●年 ●/● まで

→ スマホからご回答

→ パソコンからご回答
大阪狭山市ホームページにアクセスし、大阪狭山市水循環対策 アンケートのご
協力）を選択してください。
<http://www.city.narokuni.osaka.lg.jp/kanku/suisakukenkou/>
http://www.city.narokuni.osaka.lg.jp/kanku/suisakukenkou/

→ 投函によるご回答
市役所の窓口などで配布しているアンケート用紙にご回答
いただいたものを、封筒 BOX に投函ください。

ご不明な点がございましたら、
下記までお問い合わせください。

《問い合わせ先》
大阪狭山市 水資源部 治水対策グループ
電話番号 072-366-0011（内線 850）

アンケート用チラシ・ポスター

(3) 将来像に影響を与える要素

(3) 将来像に影響を与える要素

P.27

① 水循環に影響を与える要素：人口・土地利用・気候の変動

- 大阪狭山市の人口は約30年で約5万人（12.8%減）と予測。農業従事者も減少
- 地球温暖化の影響で50mm以上の短時間豪雨が増加、平均気温が上昇

→ 将来予測をもとに治水対策と水辺環境のマネジメントを進めます。

少子高齢化と人口減少

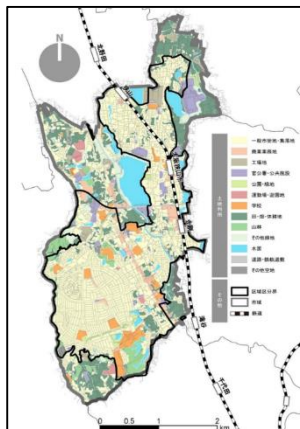
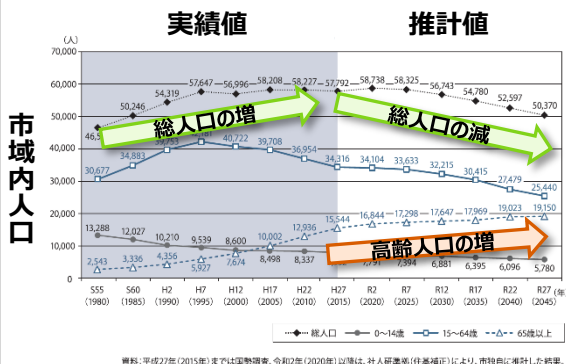
- 市内人口は現状維持傾向を保っているが2045年には、50,370人に減少（2015年比-12.8%）と予測されている。
- その際は65歳以上が約4割、老年人口1人を生産年齢人口約1.35人で支えることになる。

土地の利用状況

- 市街地570.1haに、緑地・水面等415.7haと、みどり豊かな都市空間が形成されている。また、公共交通の利便性も高い。
- 一方、農業従事者の減少による、農地・農業用施設の管理は大きな課題となっている。

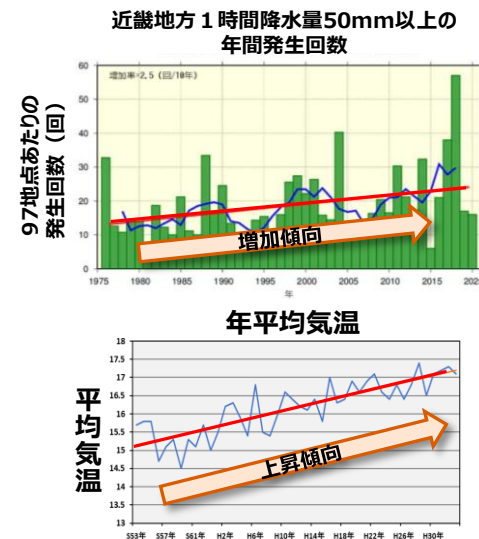
気候変動の進行

- 地球温暖化に伴い、降水量は増加傾向、平均気温は上昇傾向。
- 全国の多くの地域で、猛暑日や熱帯夜の日数増加、大雨や短時間強雨の発生頻度の増加、降雨日数の減少が予測されている。



【市域内 土地利用図】

- 一般市街地・集落地
- 田・畑・休耕地
- 山林
- 水面



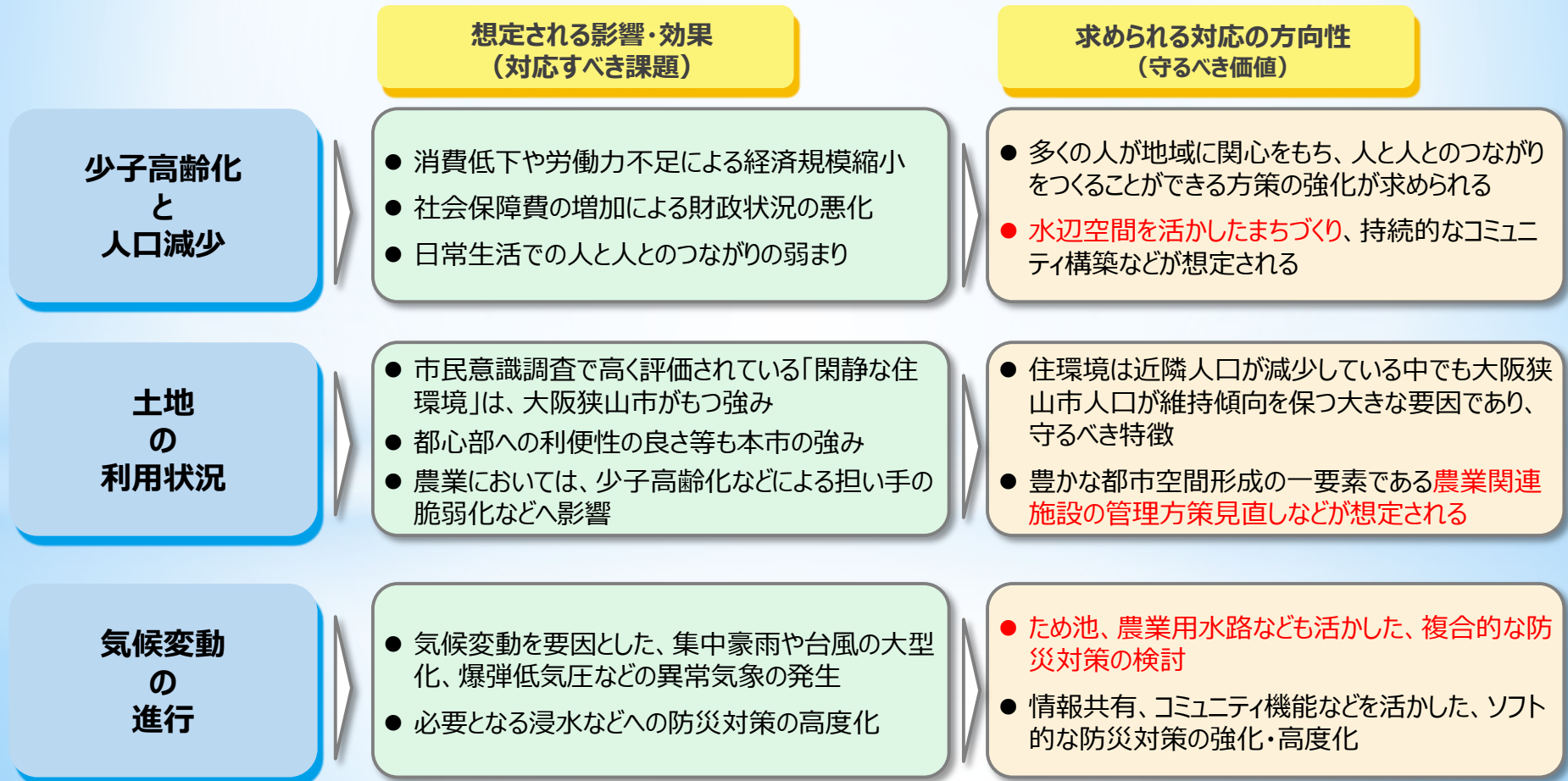
(3) 将来像に影響を与える要素

P.28

② 水循環に影響を与える要素

- 少子高齢化と人口減少、土地の利用状況、気候変動の進行による影響や効果を考慮
- 対応すべき課題から求められる対応の方向性を設定

→ 守るべき価値を関係者間で共有し、水循環計画の基本理念を設定します。



(4) 大阪狭山市の「水循環」における 特徴と課題



(4) 大阪狭山市の「水循環」における特徴と課題

P.30

① 本計画の位置付け (イメージ)

本市への関連計画 (抜粋)

大阪府国土利用計画

グランドデザイン・大阪都市圏
南部大阪都市計画区域
マスタープラン
都市景観ビジョン・大阪

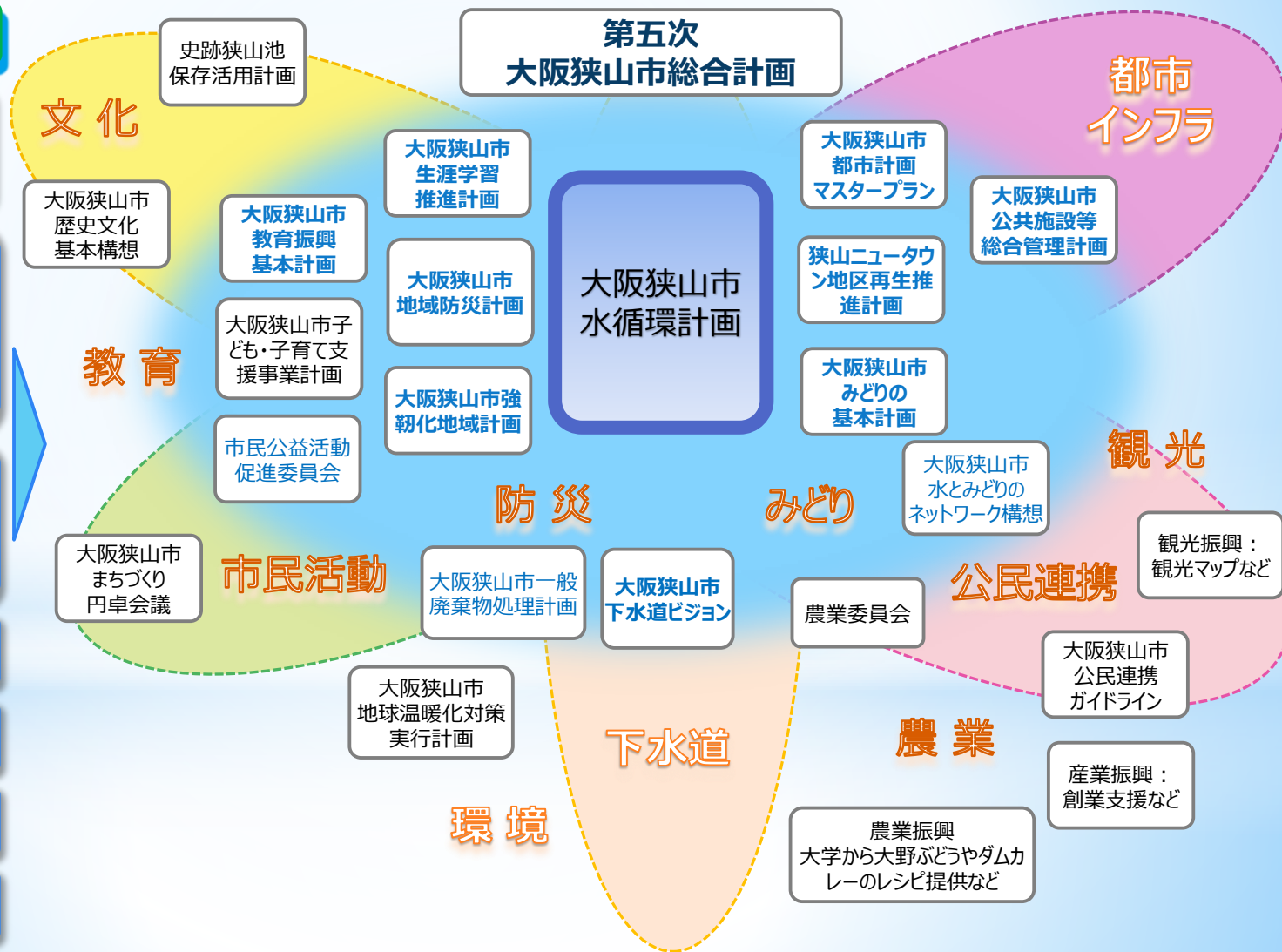
都市整備中期計画
大阪水道ビジョン
大阪府下水道整備基本計画
大阪府景観計画

大阪府教育振興基本計画

大和川水系西除川ブロック
河川整備計画

大阪府ため池
防災・減災アクションプラン

大阪狭山市水道事業
ビジョン





(4) 大阪狭山市の「水循環」における特徴と課題

P. 31

②本市水循環を構成する要素 (現状認識のまとめ)

上下水道、法定河川、治水ダムは、各枠組みの中で着実に事業を実施

→水路・ため池などの管理状況が不明確なものは、問題が顕在化する恐れがあります。

	対象施設	機能	所有者・管理者	市との関わり	課題他
上水道	企業団 水道施設	飲料水等	企業団	市は企業団の構成団体	- 水道事業の経営の課題 - 施設の老朽化 - 人口の減少
下水道(汚水)	市 下水道施設 府 下水道施設	汚水の処理	市：公共下水道 府：流域下水道	管理者 (基本 私費負担)	- 下水道事業の経営の課題 - 施設の老朽化 - 人口の減少
下水道(雨水)	市 下水道施設	浸水対策	市	管理者 (基本 公費負担)	- 内水・防災機能にかかる財源的課題 - 機能評価及び今後の整備方針 - 施設の老朽化
水路・ ため池 など (その他)	他所管外を含む 水路・ため池 など (完全把握が困難)	利 水 治水 (要検討) 親水 (要検討)	管理状況が不明確 なもも存在	法定外公共物の場合 状態把握・利用許可など 維持管理支援 財源的課題	- 営農者減少による機能不全の予兆 - 施設の老朽化と粗放化 - 施設保全の課題 - 治水機能等強化、親水機能付加の必要性 - ハード拡充・ソフト充実のための国費等財源確保 - 清掃等維持保全への住民参画 - 地下水利用状況の把握
法定河川 ・ 治水ダム	西除川・東除川・ 三津屋川・狭山池 (大和川：市外)	治 水 +α	大阪府 (富田林土木事務所)	流域マネジメント 調整・利活用	- 外水・都市防災における課題 - 流域マネジメント及び水質保全における上流域・下流域との協力体制
	対象の特定要	機能評価要 他要素との関係が複雑	私有・公有・不明 混在	支援と主体的関与 の可能性	



(4) 大阪狭山市の「水循環」における特徴と課題

P.32

③「水循環」視点からのSWOT分析結果（強み・機会）

両者ともにプラスの影響を与えるもので、「強み」は内的要因、「機会」は外的要因によるものです。

特 徴

強 み

- (1) 市民協働が活発
- (2) 信頼できるライフラインが充実
- (3) 水辺を活かしたまちづくり
- (4) 人を呼び込むまちづくり
- (5) 子育てや教育のしやすいまちづくり

強みの例

- 市民協働に係る関連方針・ガイドラインの設定、「まちづくり円卓会議」の運営
- 上下水道他、良好なライフラインの整備
- 「狭山池まつり」、「水とみどりのネットワーク事業」などの開催
- 企業との包括連携協定など、公民連携の推進

機 会

- (1) 日本最古のため池「狭山池」を有する
- (2) ため池等の自然環境が豊か
- (3) IoT技術による事業の効率化
- (4) 良好な交通アクセス

機会の例

- 府の史跡・名勝に指定されている狭山池
- 点在するため池が、都市近郊での豊かな水辺と多様な自然環境を創出
- IT・通信・デジタル技術の進歩・一般化
- 鉄道による都心との良好なアクセスと、豊かな自然が併存

※ SWOT分析は、事業状況等を「強み」・「弱み」・「機会」・「脅威」の4項目で整理・分析する方法です。



(4) 大阪狭山市の「水循環」における特徴と課題

P.33

④「水循環」視点からのSWOT分析結果 (弱み・脅威)

両者ともにマイナスの影響を与えるもので、「弱み」は内的要因、「脅威」は外的要因によるものです。

特 徴

弱 み

- (1) 水循環学習機会の不足
- (2) 持続可能な施設の維持管理体制の不安
- (3) 水と緑に親しむ環境が限定的
- (4) 将来の市財政運営に対する不安
- (5) インフラ再整備費の増加

弱みの例

- 充実した水循環関係インフラが、逆に水循環へ興味・教育の機会減少につながる可能性
- 農業利用されず管理が不十分となっているため池などの存在
- 施設老朽化に伴う、更新投資の増加
- 大規模地震対策など、新規投資の顕在化

脅 威

- (1) 農業の衰退
- (2) 地域雇用不足・長引く不況
- (3) 防犯対策・犯罪に対する不安
- (4) 少子化・高齢化社会
- (5) 南海トラフ等の大きな自然災害

脅威の例

- 少子高齢化や若者の市外流出などによる、農業従事者の減少
- ベッドタウンとして発展してきた経緯から、地元企業が少なく、通勤者が地域外に流出
- 地球温暖化等の気候変動による異常気象、南海トラフ地震などの自然災害への対応

※ SWOT分析は、事業状況等を「強み」・「弱み」・「機会」・「脅威」の4項目で整理・分析する方法です



(4) 大阪狭山市の「水循環」における特徴と課題

P.34

⑤「水循環」視点からのSWOT分析結果 (まとめ)

- 強みを活かし・守りながら、次世代へつなぐ持続可能なまちづくりが必要
- 「守るべき価値」「対応すべき課題」を、水循環計画の基本理念へ反映

→委員の皆様からの幅広い知見からのご意見と計画の審議をお願いします。

特 徴

強 み

- (1) 市民協働が活発
- (2) 信頼できるライフラインが充実
- (3) 水辺を活かしたまちづくり
- (4) 人を呼び込むまちづくり
- (5) 子育てや教育のしやすいまちづくり



機 会

- (1) 日本最古のため池「狭山池」を有する
- (2) ため池等の自然環境が豊か
- (3) IoT技術による事業の効率化
- (4) 良好な交通アクセス



弱 み

- (1) 水循環学習機会の不足
- (2) 持続可能な施設の維持管理体制の不安
- (3) 水と緑に親しむ環境が限定的
- (4) 将来の市財政運営に対する不安
- (5) インフラ再整備費の増加



脅 威

- (1) 農業の衰退
- (2) 地域雇用不足・長引く不況
- (3) 防犯対策・犯罪に対する不安
- (4) 少子化・高齢化社会
- (5) 南海トラフ等の大きな自然災害



守るべき価値

災害が少なく、
豊かな水・みどり・活気のあるまち

対応すべき課題

持続可能なまちづくり